

8/22
早稲田

「どさくさに紛れの強行採決」

安保法 鴻池氏、衆院に苦言

安保法案に関する参院特別委員会の鴻池祥肇委員長（自民）は二十一日、安保法案に関し「国論を二分、三分している重大な法案。衆院でどさくさに紛れるような強行採決をやった」と指摘した。委員会閉会后、記者団に述べた。

鴻池氏は「先の大戦で国会は軍部の独走を止められなかった。貴族院でどうにもならなかったから、参院を置いた」と持論を展開。その上で「参院の役割は衆院の拙速を戒める立場だ」と指摘した。

自民党内で安保法案の採

決時期が九月の総裁選の日程と絡めて発言されていることを踏まえて、鴻池氏は「極めて不快なことだ。審議の邪魔になる」と苦言を呈した。

安保法案について「参院が合意形成の努力をしなればいけない時に総裁選とか（法案を）いつまでに成立させなければいけないとか、ばかなことを言っているといけない」と強調した。